

## 可燃用指定ごみ袋等へのバイオマスプラスチック導入状況調査結果

2020/9/25

資源循環推進課

## 1 調査概要

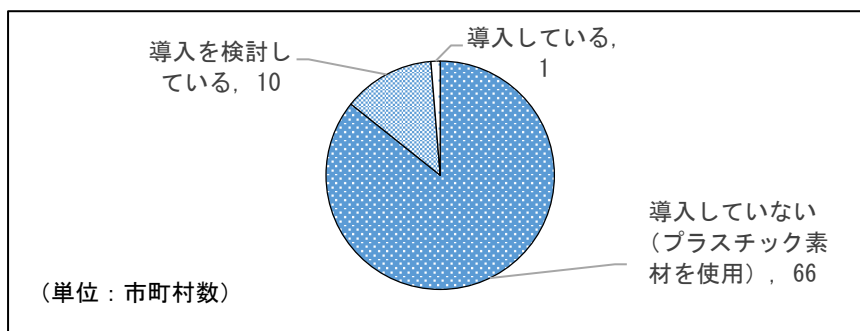
県内全市町村を対象に、可燃用指定ごみ袋等燃やさざるを得ないごみ袋へのバイオマスプラスチックの導入実績について調査を実施した。(調査期間：令和2年8月28日～9月15日)

その他、バイオマスプラスチック等の導入実績についても調査した。

※バイオマスプラスチックとは、原料として植物などの再生可能な有機資源を使用するプラスチック素材のことを指す。

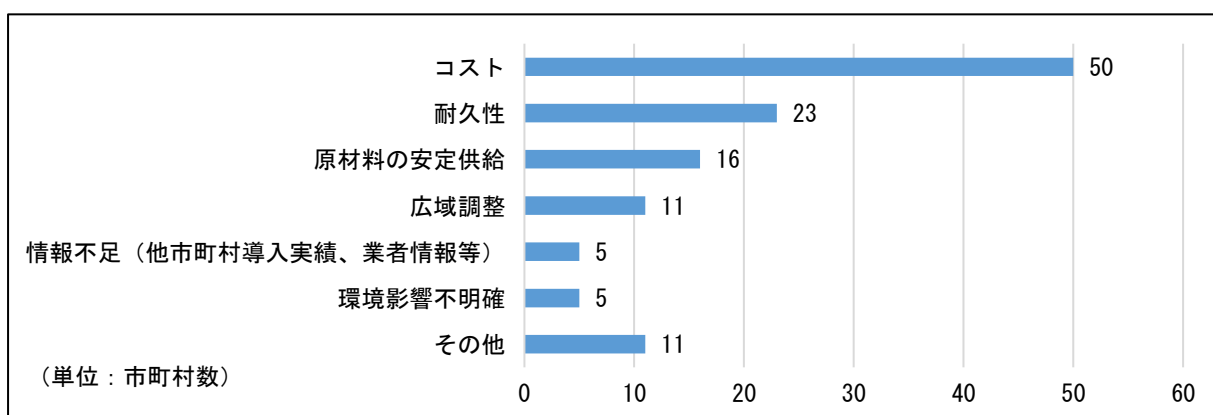
## 2 結果概要

## (1) 可燃用指定ごみ袋等へのバイオマスプラスチック導入の有無



➤導入しているのは飯田市のみで、木曾管内6町村は広域での導入を検討している。

## (2) バイオマスプラスチック導入へ課題と感じていること(複数回答あり)



➤コスト、耐久性、原材料の安定供給を課題に挙げた市町村が多かった。

➤その他の内容として、再生ポリエチレンを使用し焼却した際にダイオキシン等を発生させないなど環境へ配慮しているためバイオマスプラスチックにするメリットが不明、在庫の状況による、ごみ袋も含めて助燃材として考えている等。

(3) その他、石油由来のプラスチック製品に替わり、バイオマスプラスチック等（海洋生分解性プラスチックなどのバイオプラスチックや紙などの再生利用品含む）を導入している事例

市町村名	内容
長野市	・資源物収集コンテナ（びん・乾電池）において、植物由来5%配合のプラスチック製品を使用（H28年度以降、購入個数3,650個）。
松本市	・令和元年から飲食店等へ配布する食べ残し持帰り容器にバガスモールド製品（非木材紙）を使用。 ・令和2年から食品ロス削減啓発用ポケットティッシュの外装を紙製に変更。
小諸市	・生ごみ指定袋の材質はクラフト防水紙であり、生ごみを含め指定袋ごと堆肥化し、資源化。
東御市	・生ごみ専用袋に生分解性プラスチックを使用。
軽井沢町	・外郭団体にて制作した道路清掃専用ごみ袋に試験的にバイオマスプラスチックを使用。
御代田町	・生ごみ指定袋に紙を使用。
長和町	・生ごみ専用袋に生分解性プラスチックを使用。
木曽管内 6町村	・生ごみ専用袋に生分解性プラスチックを使用。
高山村	・生ごみ指定袋にクラフト紙を使用しており、生ごみを含め指定袋ごと堆肥化。

(4) 可燃用指定ごみ袋等へバイオマスプラスチックを導入している飯田市の状況

- ・バイオマスプラスチックは可燃ごみのごみ袋に導入。
- ・サイズは大小あり、それぞれに導入。
- ・バイオマスプラスチックの配合割合は10%。
- ・価格が変わらない範囲で仕入れメーカーから提案があり、市として承認した。
- ・令和2年9月現在はまだ100%石油由来のポリエチレン製のごみ袋となっているが、年末にかけて市場に出回る予定。